

熊本県開催<火の国ラウンド>



H24.1.28(Sat)

松屋本館

3学期に入り、お忙しい時期にもかかわらず、九州各県はもとより、広島県や山口県、そして遠くは秋田県から、**50名**の会員が集まり開催することができました。“火の国の熱い会”に、多くの方々がお集まりいただき心から感謝いたします。

1 トピックス(「単元構造図の深化と発展」講座)



○佐藤豊教授から「単元の構造図」について、プレゼンが行われました。「単元構造図」自体の説明と作成の仕方や作成過程について、詳しい事例をもとに解説していただきました。また、ゲスト参加の秋田県大曲中学校の佐藤秀敏先生から「研究指定校での取組」から継続されている体づくり運動の実践を発表いただきました。質疑では、佐藤秀敏先生実践の「体ほぐしの運動」の内容について、さらに掘り下げたところでの質問や「体づくり運動」について、きつさや疲労感を味わわせることも必要ではないか、という意見も出されました。佐藤教授からは、運動を敬遠しがちな生徒が、自ら運動に取り組む意欲や自分にあった運動を取り出し、修正する力の育成することの必要性をお話いただきました。

2 実践報告



○まず、平成20年度～22年度国立教育政策研究所「学力の把握」研究指定校の実践を菊鹿中学校の北本先生から報告いただきました。次に平成23年度に熊本県で行われた中学校・小学校の研究発表大会の実践報告を八代第一中学校の馬淵先生、佐伊津小学校の坂本先生に報告いただきました。「学力の把握」の発表については、授業実践からの中学校新学習指導要領の重みと単元構造図の有効性をユーモアをま

じえながら報告いただき、小・中学校の発表は、それぞれの地区での結束された成果としてのすばらしい研究実践を報告いただきました。

忙しい中、御報告いただいた先生方本当にありがとうございました。

3 質疑応答及び意見交換

○実践報告をもとに、グループ協議のあと、質疑応答・意見交換を行いました。 「中学校のダンスの報告について小学校でも同じようなことをやっている」「ソフトボールのゲームで最終的にどこを目指すのか」「現代的なリズムのダンスの価値は」「小学校における体育授業の広め方」等、活発に意見が出されました。佐藤教授からも「さすが火の国、熱い協議ですね。」とコメントをいただきながら、疑問点に関しては、的確に示唆を与えていただきました。



4 土俵マットの開発について



○最後に熊本大学教育学部准教授の小澤雄二先生から、土俵マットの開発について発表していただきました。安全面を重視し、かつ簡単にセッティングできる土俵マットについて、小澤先生の御専門は柔道なのですが、こういった研究もされており、大変貴重な情報を提供いただきました。(報告：大園)

次回予告！佐賀むつごろうラウンド

2月18日(土) 13:30~17:00

多くの方の参加をお待ちしております！